

レッツ 原価管理 Go!

帳票レイアウトマニュアル

Contents

| | |
|-------------------------|---|
| 概要 | 2 |
| 帳票の編集 | 3 |
| 外部データの処理 (インポート/エクスポート) | 8 |



本マニュアルでは、帳票レイアウト機能についてのみ解説しております。その他の機能および操作方法につきましては「レッツ原価管理Go! 操作マニュアル」をご確認くださいませようお願いいたします。

概要

「レッツ原価管理Go!」の対外帳票の書式データをもとに、文字の大きさやレイアウトを変更してオリジナルの帳票を作成することができます。

🔗 帳票レイアウトのレイアウトデザイン変更は「レッツ原価管理Go!」の基幹システムとは異なるシステム上で行います。

【ご注意】帳票レイアウト使用について

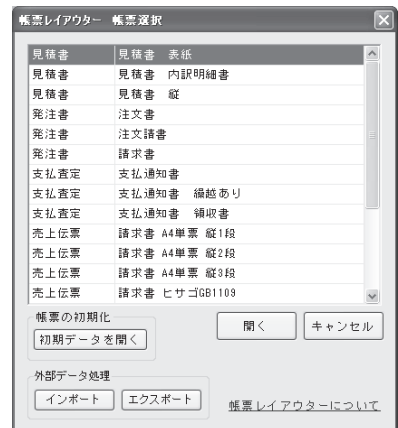
帳票レイアウトに関するサポートは下記の内容に限定させていただきます。本ヘルプでもこの内容についてのみ解説いたします。下記内容に関係のないメニュー、機能は解説しておりませんのでご了承ください。

- 文字フォント(字体大きさ色等)の変更
 - 各項目の位置変更
 - ロゴの挿入
 - 罫線の変更・追加
 - 固定文の追加
- 🔗 ヘッダ部や各明細行の高さ変更、用紙サイズの変更に関するサポートは行っておりません。ご希望の場合は「Excel書出」機能を使用するか、または弊社でカスタマイズ(有償の個別改造)を承っておりますので弊社サポートセンターまでご連絡ください。

🔗 操作の流れ

1. Windowsスタートメニューの[プログラム]>[レッツ原価管理Go!]>[帳票レイアウト]を起動します。
2. 起動した直後の画面で編集したい帳票名を選択し、[開く]をクリックします。
3. レッツ原価管理Go! 帳票レイアウト画面が開きます。ここで自由に帳票の編集が行えます。←次頁 帳票の編集
4. 帳票の編集が終了後、メニューバーの[ファイル]>[レイアウトの保存]で帳票が保存されます。
保存直後よりレッツ原価管理Go!の帳票は変更した書式データで印刷されるようになります。

- 帳票はパソコンごとに保存されます。
 - ここで保存した帳票を他のパソコンで使用する場合は、インポート/エクスポート処理が必要です。
- ←P.8 外部データの処理



■データを元に戻すには

帳票データは出荷時の状態に戻すことができます。

1. メニューバーの[ファイル]>[レイアウトの読込]の帳票データ選択画面で、初期化したい帳票を選択し[初期データを開く]ボタンをクリックします。
2. 選択した帳票の初期書式データが開くのでそのまま保存してください。

帳票の編集

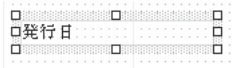
※制限事項

- 初期データとして最初から画面上に存在する項目は削除できません。
表示させたくない項目の場合は、プロパティのVisibleをfalseに変更してください。
- 各明細行、ヘッダ部、フッタ部の高さは変更できません。
- 用紙のサイズ、縦横は変更できません。

操作

■オブジェクトの選択

オブジェクトをクリックすると端に□が付き、選択状態になります。



■オブジェクトの移動

選択状態で図形をドラッグすると移動が可能です。



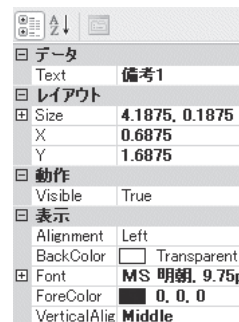
■オブジェクトサイズの変更

オブジェクトを選択後、□にマウスカースルを合わせてドラッグすると、拡大縮小が可能です。



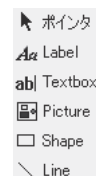
■色・線・フォント等のプロパティの変更

オブジェクトを選択し、画面右のプロパティ Boxの設定を変更します。☞機能 プロパティ BOX








■オブジェクトの追加

画面左のツールBoxの追加したいオブジェクトをクリックして選択し、デザイナー画面上で表示したい大きさにドラッグ&ドロップします。☞機能 ツール


























■ ツールBox

| ツール | 機能 |
|---------|--|
| ポインタ | オブジェクトの選択に使用。 |
| Label | 固定文の追加のための文字枠作成に使用。ドラッグ&ドロップで描画後、プロパティ Boxの「テキスト」で表示したい文字を入力。文字の書式・フォント等もプロパティ BOXで設定。 |
| Textbox | ※レッツ原価管理Go!での帳票レイアウト機能(サポート範囲内)ではこの2つのツールに違いはありません。 |
| Picture | ロゴなどの画像を取り込むための枠を描く場合に使用。ドラッグ&ドロップで描画後、プロパティ Boxの「イメージ」で画像ファイルを指定。 |
| Shape | 長方形や楕円を描く場合に使用。ドラッグ&ドロップで描画。 |
| Line | 直線を描く場合に使用。ドラッグ&ドロップで描画。線種・太さ等は描画後、右ドラッグメニューのFormatBorderから変更可能。 |

-  ポインタ
-  Label
-  Textbox
-  Picture
-  Shape
-  Line

■ ツールバー (レイアウト関連)



| アイコン | 機能 |
|---|----------------------------------|
|  | グリッドに合わせてコントロールを配置し直す。 |
|  | 選択したオブジェクトを左揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトをX軸中央揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトを右揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトを上揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトをY軸中央揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトを下揃えする。 |
|  | 選択したオブジェクトの幅を揃える。 |
|  | オブジェクトの移動、サイズ変更をグリッドに合わせるかどうか設定。 |
|  | 選択したオブジェクトの高さを揃える。 |
|  | 選択したオブジェクトのサイズ(幅、高さ)を揃える。 |
|  | 選択したオブジェクトの左右間隔を均等にする。 |
|  | 選択したオブジェクトの左右間隔を広くする。 |
|  | 選択したオブジェクトの左右間隔を狭くする。 |
|  | 選択したオブジェクトの左右間隔を削除する。 |
|  | 選択したオブジェクトの上下間隔を均等にする。 |
|  | 選択したオブジェクトの上下間隔を広くする。 |
|  | 選択したオブジェクトの上下間隔を狭くする。 |
|  | 選択したオブジェクトの上下間隔を削除する。 |
|  | 選択したオブジェクトをレポート内左右中央揃えにする。 |
|  | 選択したオブジェクトをレポート内上下中央揃えにする。 |
|  | 選択したオブジェクトを最前面へ移動する。 |
|  | 選択したオブジェクトを最背面へ移動する。 |

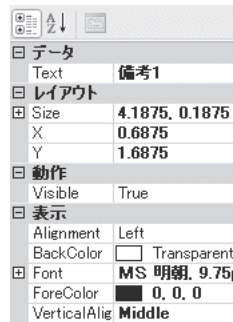
■ ツールバー (フォント関連)



| アイコン | 機能 |
|----------|-------------------------------|
| | デザイナー上の格子(グリッド)の表示/非表示を切り替える。 |
| B | 選択したオブジェクトの文字列を太字にする。 |
| <i>I</i> | 選択したオブジェクトの文字列を斜体(イタリック体)にする。 |
| <u>U</u> | 選択したオブジェクトの文字列に下線をつける。 |
| | 選択したオブジェクトの文字列を左寄せする。 |
| | 選択したオブジェクトの文字列を中央寄せする。 |
| | 選択したオブジェクトの文字列を右寄せする。 |

■ プロパティ BOX

(選択したオブジェクトの情報を表示。これを変更可能。)



| プロパティ名 | 概要 | 入力/設定方法 | 変更可能 オブジェクト |
|--------------|---|---------|------------------|
| データ | | | |
| Text | 画面上に表示される文字列を設定。 固定文を追加したい場合、ツールBoxのLabelまたはTextboxツールで文字枠を作ってここで入力すると、その文字が帳票に印字される。 ❖ 初期状態で入っている文字列は、ここで変更しても帳票の印刷には反映されない。 | 文字入力 | Label Textbox |
| Image | Pictureに表示する画像の読込。 | [...]選択 | Picture |
| レイアウト | | | |
| Size | オブジェクトの大きさの設定。 [+] から下位メニューを表示して幅、高さを別に設定可能。 | 半角数字 | すべて |
| + Width | 幅の設定 | 半角数字 | |
| + Height | 高さの設定 | 半角数字 | |
| X | オブジェクトの表示位置(X座標)の設定。下が+。 | 半角数字 | すべて |
| Y | オブジェクトの表示位置(Y座標)の設定。右が+。 | 半角数字 | すべて |
| 動作 | | | |
| Visible | オブジェクトの表示(可視/不可視)の設定。 True=印刷時に表示する False=印刷時に表示しない | ▼選択 | すべて |

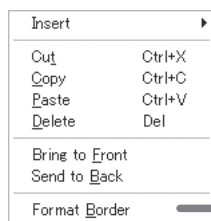
| プロパティ名 | 概要 | 入力／設定方法 | 変更可能 オブジェクト |
|-------------------|--|-----------------------|----------------------------------|
| 表示 | | | |
| Alignment | 文字列の横配置の設定。 Left：左揃え Center：中央揃え Right：右揃え Justify：両端揃え | 半角数字 | Label Textbox |
| VerticalAlignment | 文字列の縦位置の設定。 Top：上寄せ Middle：センター寄せ Bottom：下寄せ | 半角数字 | Label Textbox |
| Font | 文字列のデザイン（フォント・サイズ・文字飾り）を設定。 [+] から下位メニューを表示して詳細設定が可能。 | [...] フォント設定 ウィンドウ | |
| Name | 文字列のフォントの選択。 | ▼選択 | |
| Size | 文字のサイズを入力。 | 半角数字 | |
| Unit | 文字サイズの単位を次から選択可。 World / Pixel / Point / Inch / Document / Millimeter | ▼選択 | |
| Bold | True=文字列を太字にする。 False=文字列を太字にしない。 | ▼選択 | |
| GdiCharSet | 使用するGDI文字セット。日本語を表示する場合には、シフトJIS 文字セットである128でなければならない。 | 半角数字 | Label Textbox |
| + GdiVerticalFont | 縦書きフォントを使用している場合にTrueと表示される。(通常False) | ▼選択 | |
| Italic | True=文字列を斜体にする。 False=文字列を斜体にしない。 | ▼選択 | |
| Strikeout | 打ち消し線を引くかどうかの設定。 True=選択したオブジェクト内の文字に打ち消し線を引く False=打ち消し線をつけない | ▼選択 | |
| Underline | 下線(アンダーライン)を引くかどうかの設定。 True=選択したオブジェクト内の文字に下線を引く False=下線をつけない | ▼選択 | |
| ForeColor | 文の色設定。 | ▼パレット | Label Textbox |
| BackColor | オブジェクトの背景色の設定。 | ▼パレット | Label, Textbox Picture, Shape |
| PictureAlignment | Picture枠内の画像の位置の設定。 TopLeft：枠に対して画像の左上を揃えて配置 TopRight：枠に対して画像の右上を揃えて配置 Center：枠に対して画像の中心を揃えて配置 BottomLeft：枠に対して画像の左下を揃えて配置 BottomRight：枠に対して画像の右下を揃えて配置 | ▼選択 | Picture |
| LineColor | オブジェクトの罫線の色の設定。 | ▼パレット | Picture Shape, Line |

| プロパティ名 | 概要 | 入力/設定方法 | 変更可能 オブジェクト |
|------------|---|---------|--------------------------|
| LineStyle | オブジェクトの罫線の種類の設定。 Transparent：透明 Solid：直線 Dash：破線 ----- Dot:点線 DashDot：-.-.-.-.- DashDotDot: -.-.-.-.- | ▼選択 | Picture Shape Line |
| LineWeight | オブジェクトの罫線の太さの設定。 | 半角数字 | Picture Shape Line |
| Style | 四角罫線の種類を設定 Rectangle：オブジェクトを長方形にする Ellipse：オブジェクトを楕円形に RoundRect：オブジェクトを角が丸い長方形 | ▼選択 | Shape |
| その他 | | | |
| X1, X2 | LineのX座標始点、終点の設定。下が+。 | 半角数字 | Line |
| Y1, Y2 | LineのY座標始点、終点の設定。右が+。 | 半角数字 | Line |

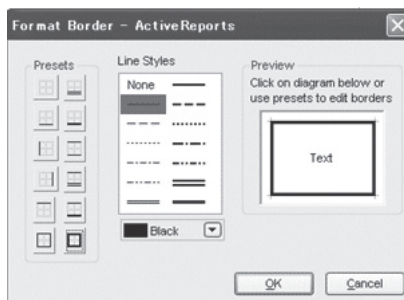
■右クリックメニュー

| メニュー | ショートカット | 機能 |
|----------------|---------|----------------------------------|
| Insert | | 《レッツ原価管理Go!ではサポートしていません。》 |
| Cut | Ctrl+X | 選択しているオブジェクトをクリップボードに記憶し、消去。 |
| Copy | Ctrl+C | 選択しているオブジェクトをクリップボードに記憶する。 |
| Paste | Ctrl+V | クリップボードにあるオブジェクトを貼り付ける。 |
| Delete | Del | 選択しているオブジェクトを消去。 |
| Bring to Front | | 選択しているオブジェクトを全面に出す。 |
| Sent to Back | | 選択しているオブジェクトを背面に送る。 |
| Format Border | | ウィンドウが開き、選択しているオブジェクトの線種、色が設定可能。 |

▼右クリックメニュー



▼ Format Border ウィンドウ (線の設定)



外部データの処理（インポート／エクスポート）

編集した帳票データは編集したマシン上でのみ反映されます。他のマシンで同じレイアウトで出力したい場合は、帳票のインポート／エクスポート機能を使用してください。

操作

■エクスポート

1. 編集する帳票の選択画面でエクスポートしたい帳票名を選択し、[エクスポート] ボタンをクリックします。
2. 書出先選択ダイアログが開くので、ファイル名を入力して書出先を指定し、[保存] をクリックします。
3. 指定したパスにファイルができていれば書出完了です。

■インポート

1. 編集する帳票の選択画面でインポートしたい帳票名を選択し [インポート] ボタンをクリックします。
2. ファイルの選択ダイアログ画面が開くので、読み込みたいエクスポートファイルを選択し、[OK]（または [開く]）をクリックします。
3. 読み込もうとしたファイルの帳票と、読み込ませようとした帳票が一致しない場合、エラーになります。
4. 正しいファイルを選択すると読み完了の確認メッセージが表示されます。

